

令和8年1月13日(火)15:30~17:00 泉佐野市立社会福祉センター2階大会議室にて、第6回泉佐野市立児童発達支援センター主催研修会を実施しました。

今回は、児童発達支援センター理学療法士、作業療法士が講師となり、『目指してみようこども目線の環境設定』と題して、これまで実施してきた機能訓練や、学校現場への巡回訪問からの事例も交えながら、お話しさせていただきました。

研修には、市内の小中学校をはじめ、こども園や通所支援事業所、府立支援学校などから、計41名の参加がありました。

理学療法士からは、姿勢保持についてのお話をさせていただき、声かけや注意喚起だけで姿勢保持を促すのではなく、こどもが座りやすい姿勢、学習や作業などに集中しやすい姿勢を作るための、机や椅子、またその調整方法や、そのために支援者ができる工夫などをお伝えしました。

作業療法士からは、上記の机や椅子の設定が操作にいかに関与するのか、に加え、“支援者も環境の一部”であるという視点で、こども自身が自分で気づいて行動するための、“見守る姿勢”の必要性について、お伝えしました。

参加者からは「人も環境である中で、こどもからの視点・視線、受け取り方をもう一度見直したいと思いました。」「姿勢保持について、集中力が続かない子には椅子、机の高さなど改めて調整しようと思いました。」「椅子の調整って本当に大変なのですが、その子のために！と思って重い腰をあげてみようと思いました。」等、今後の支援に生かしていこう、という前向きな感想をいただきました。

